

ときわ木



三種苗交換会と感謝の会

総合的な学習の時間や畑作業、放課後子ども教室などで、お世話になっている地域の皆様をお招きして子どもたち主催の「感謝の会」を行いました。5年生による「常盤の米づくり」の発表を聞いた後、5・6年生が作った料理をお世話になったみなさんと全校の子どもたちといただきました。3年生が作ったランチョンマットには、常盤米のおにぎりやフライドポテト、ハックルベリージャムなど地元の食材を生かした料理のお品書きが添えられました。私が一緒に食べたグループでは、一人一人が齊藤かおりさんに日頃の感謝を述べました。6年生の桐越きりさんが、「私はかおりさんやマチ子さんに1年生の時からずっと見てもらっているから卒業で別れることが少し寂しい」と話すと、かおりさんの目から涙が溢れました。

5・6年生の子どもたちが渡した感謝状とお世話になったみなさんの写真を載せました。ここに掲載した9人の皆様の他にもたくさんお世話になった方がいらっしゃいます。常盤小学校は来年度で閉校しますが、閉校後もずっと地域の一員として、お世話になった方々に感謝できる人になってほしいと願っています。

小林甚一様

甚一さんは、いつも楽しそうに仕事をしていました。甚一さんがいなかったら、私たちは、常盤の米がおいしいことに気付きもせず、ふるさと常盤に誇りをもつことができませんでした。甚一さんのように、胸を張ってふるさとを語れる人になりたいです。平成30年度も、本当にありがとうございました。



佐々木茂子様

「おしげちゃん」は、いつもだれにでも笑顔で接してくださいました。おしげちゃんがいなかったら、私たちは、畑であのようにおいしくてきれいな作物を収穫することはできませんでした。おしげちゃんのように笑顔が似合う大人になりたいです。平成30年度も、本当にありがとうございました。



石川博孝様

「石川隊長」は、私たちに一流のトマトを食べさせてくれます。石川隊長のトマトは宝石みたいです。そして、畑のお手伝いをしていると、必ず楽しそうに話しかけてくださったり、難しい技を教えてくださいました。農業ってかっこいいなと思わせてくださいました。ありがとうございました。



佐々木松夫様

一緒に活動する機会はあまりありませんでしたが、松夫さんがいなければ、こんなにも広い視野で活動することはできませんでした。松夫さんが、私たちの活動と地域のみなさんを結びつけ、さらに、能代支援学校や夢工房：咲く咲くのみなさんとつなげてくださいました。心より感謝いたします。



工藤巖様

巖さんは、ネギ博士です。何を聞いても答えてくださいました。そして何よりも、ネギを大事にしていることが伝わりました。学校農園は土がやせているのですが、毎日愛情を注いでくれたおかげでたくさん収穫できました。巖さんのように、物や人を大事にできる人になりたいです。ありがとうございました。



野村マス様

マスさんは、畑作業だけでなくクラブでも、たくさんのお話を教えてくださいました。麦まきは、家で作ることはほとんどありません。伝統食を教えてくださいただけることは、本当にうれしいです。マスさんの手は魔法の手。マスさんが手伝ってくれるとおいしくなります。これからもたくさん教えてください。



山崎聖子様

山崎さんには畑作業の時にお手伝いいただきました。1年生の大河さんのおばあさんですが、大河さんだけでなくみんなのお世話をしてくださいました。特に、畑作業の最後に食べたじゃがバターパーティでは、おいしいジャガイモと一緒に最高の笑顔をくださいました。本当にありがとうございました。



幸坂マチ子様

マチ子さんは、毎日、私たちが放課後図書室に行くと、そこにいて見守ってくれました。必ず、大きな声で挨拶をして迎えてくれます。マチ子さんがいないと大変です。ずっと常盤小の子どもたちを見守ってくださっているから、何でも知っています。これからも常盤っ子をよろしくお願いします。



齊藤かおり様

かおりさんは、図書室で勉強したり遊んだりしている私たちの安全を第一に見てくれます。だから安全でないときは厳しく注意してくれます。それでも図書室が好きなのは、かおりさんとマチ子さんが私たちにしてくださるからです。これからは迷惑をかけないようにします。よろしくお願いします。

